

デジタルグリッドへ出資

ダイヤモンドエレクトリックHD

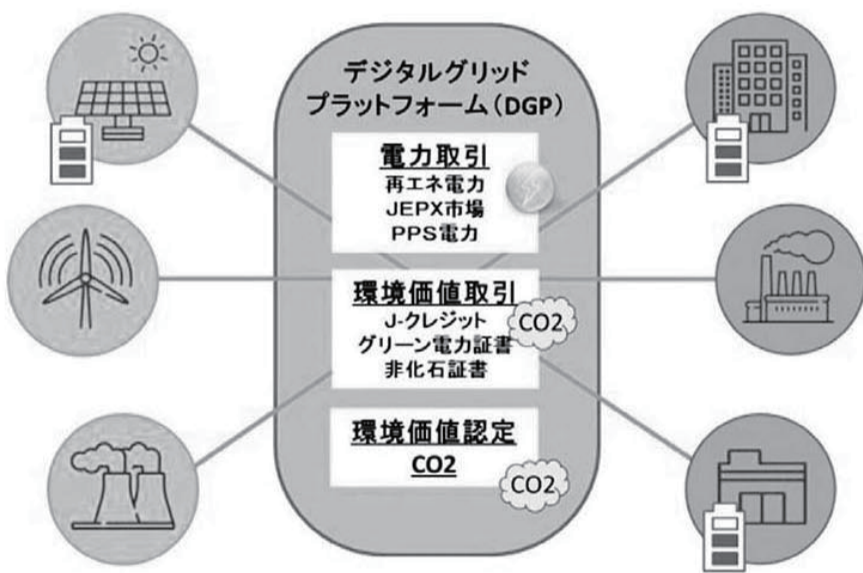
電力P2P取引など取り組み

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス(HD)は、次世代電力取引プラットフォームの開発・運営を手がけるデジタルグリッド(豊田祐介社長、東京都千代田区)

に出資したと発表した。ダイヤモンドエレクトリックHDのグループ会社であるダイヤモンドエレクトリックが持つパワコン蓄電システムなどの製品群や、自動車と家、電力系統をつな

ぐ技術を、デジタルグリッドが持つ技術やサービスと融合することで、蓄電池制御を含めた再生可能エネルギー電力のP2P(ピア・ツー・ピア)取引、環境価値取引など新しい社会的ニーズに取り組んでいく。

デジタルグリッドは2017年10月に創業、発電家と需要家間での電力の直接売買や



環境価値の取り引きができる次世代の電力取引システム「デジタルグリッドプラットフォーム(DGP)」を運営する。同社の技術により、発電家と需要家の太陽光などの再生可能エネルギーの発電量、自家消費量、売買電量を明確化し、その価値を最大化して再生可能エネルギーの普及に貢献するとしている。